

# 平成25年度 第1回越前町地域公共交通会議

日時：平成25年4月19日(金)

午後2時から

場所：越前町役場 別館2階 大会議室

## 会 議 次 第

1. 開会

2. 町長あいさつ

3. 説明事項

越前町地域公共交通会議の役割について

4. 協議事項

(1) 平成24年度コミュニティバス及び路線バスの状況について

(2) 平成24年度国庫補助事業（地域公共交通確保維持改善事業）の事業評価について

5. その他

6. 閉会

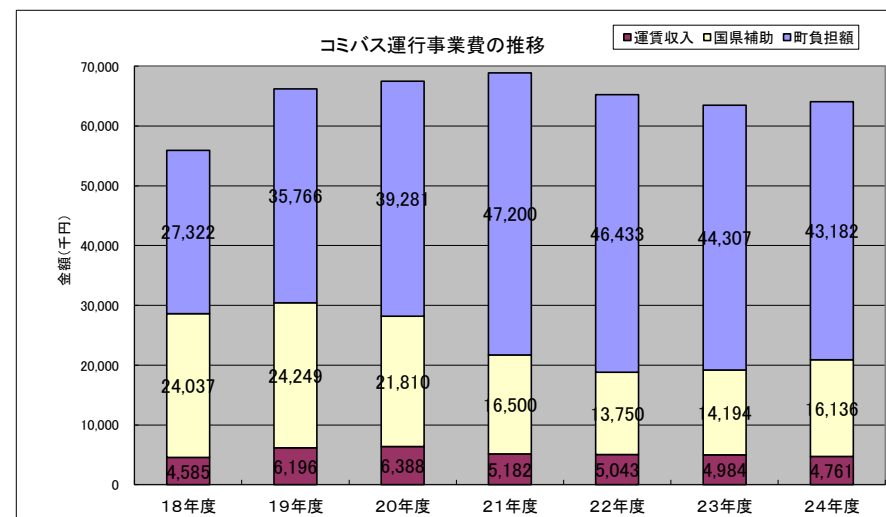
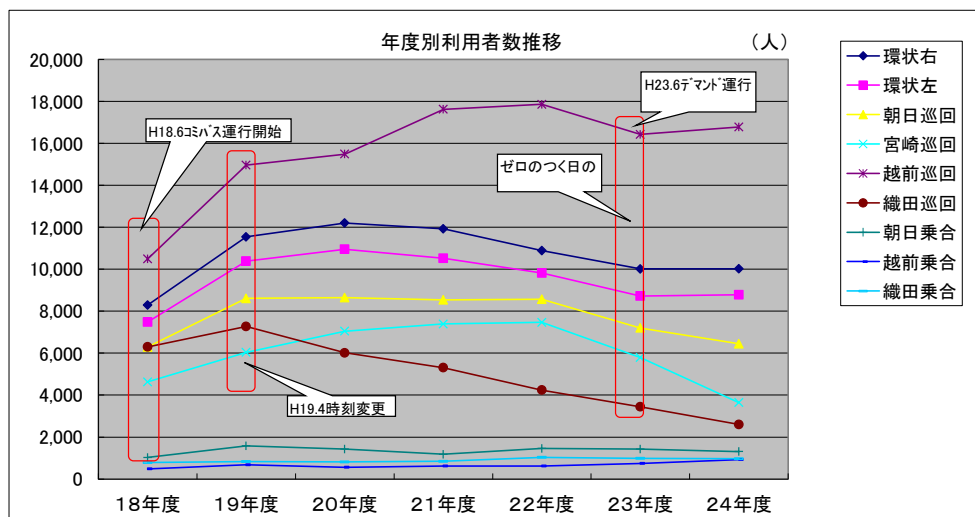
# コミュニティバスの状況

## ルートごとの利用者の推移

(単位:人)

ルート	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平成23年度 (299日間)												23年度	平成24年度 (307日間)												24年度		
	203日間	254日間	256日間	257日間	257日間	4月 (21日)	5月 (22日)	6月 (25日)	7月 (26日)	8月 (27日)	9月 (26日)	10月 (26日)	11月 (26日)	12月 (24日)	1月 (24日)	2月 (25日)	3月 (27日)	(299日)	4月 (25日)	5月 (27日)	6月 (26日)	7月 (26日)	8月 (27日)	9月 (25日)	10月 (27日)	11月 (26日)	12月 (24日)	1月 (24日)	2月 (24日)	3月 (26日)	(307日)	年間	
環状 右	8,290	11,536	12,200	11,926	10,881	878	912	795	751	863	821	766	786	822	775	864	978	10,011	839	959	829	797	893	770	923	844	766	784	827	787	10,018		
環状 左	7,486	10,386	10,952	10,519	9,815	800	756	662	689	677	664	714	724	726	717	742	853	8,724	747	792	742	776	755	687	834	724	651	669	707	700	8,784		
朝日巡回	6,289	8,609	8,648	8,543	8,565	703	719	567	592	617	549	620	579	551	561	577	566	7,201	573	598	478	583	532	490	597	531	543	473	524	519	6,441		
宮崎巡回	4,632	6,040	7,048	7,388	7,463	576	515	575	521	526	514	478	500	390	372	375	447	5,789	384	366	380	377	292	251	301	306	218	269	255	249	3,648		
越前巡回	10,491	14,959	15,485	17,623	17,854	1,372	1,385	1,311	1,327	1,488	1,475	1,303	1,206	1,425	1,246	1,439	1,442	16,419	1,393	1,338	1,352	1,417	1,509	1,387	1,524	1,442	1,464	1,267	1,369	1,315	16,777		
織田巡回	6,298	7,270	6,014	5,310	4,241	368	310	300	231	226	250	249	227	288	299	362	335	3,445	245	203	229	233	227	221	278	215	213	210	190	140	2,604		
朝日乗り合い	1,026	1,579	1,425	1,180	1,460	111	98	133	119	141	112	117	148	101	108	101	136	1,425	109	132	122	131	130	109	120	106	106	68	89	85	1,307		
越前乗り合い	481	677	559	617	622	67	60	44	57	43	61	63	79	59	55	74	81	743	69	59	76	90	87	71	72	82	77	69	95	83	930		
織田乗り合い	784	835	815	844	1,034	52	88	112	70	80	98	78	83	87	81	72	79	980	74	85	77	90	66	81	93	89	85	68	80	81	969		
合計	45,777	61,891	63,146	63,950	61,935	4,927	4,843	4,499	4,357	4,661	4,544	4,388	4,332	4,449	4,214	4,606	4,917	54,737	4,433	4,532	4,285	4,494	4,491	4,067	4,742	4,339	4,123	3,877	4,136	3,959	51,478		
一日平均	237.0	259.8	264.7	267.0	261.8													1日平均	197.4													1日平均	181.7

2



## 路線バスの状況

### ア 平均乗車密度と路線バス維持支援補助金

#### <京福バス>

路線名	起点～終点	平成 23 年度 (H22. 10～H23. 9)		平成 24 年度 (H23. 10～H24. 9)		比較増減 (24 年度－23 年度)	
		平均乗車 密度 (人)	町補助金 (千円)	平均乗車 密度 (人)	町補助金 (千円)	平均乗車 密度(人)	町補助金 (千円)
西田中宿堂線(国)	天王～福井駅	2.0	2,942	2.0	267	0.0	△2,675
		路線便数を見直し H23. 11 運行開始		5.1	0		0
清水西田中線(県)	天王～プラント3	路線便数を見直し H23. 11 運行開始		0.2	1,651		1,651
茱崎線 (国)	水仙ランド～福井駅	2.3	1,227	2.2	130	△0.1	△1,097
		便数を見直し H23. 11 運行開始		3.9	432		432
織田線 (国)	織田～福井駅	1.9	6,593	1.6	508	△0.3	△6,085
清水織田線(県)	織田～プラント3	路線便数を見直し H23. 11 運行開始		0.3	5,846		5,846
西田中宿堂線(町)	天王～宿堂	0.2	3,418	0.1	3,240	△0.1	△178
西田中宿堂線(町)	天王～ハツ俣	1.1	1,968	1.8	2,088	0.7	120
ほやほや西田中(町)	天王～プラント3	H23. 11 運行開始			380		380
ほやほや織田(町)	織田～プラント3	H23. 11 運行開始			1,396		1,396
ほやほや茱崎(町)	水仙ランド～若杉	H23. 11 運行開始			298		298
合 計			16,148		16,236		88

#### <福鉄バス>

路線名	起点～終点	平成 23 年度 (H22. 10～H23. 9)		平成 24 年度 (H23. 10～H24. 9)		比較増減 (24 年度－23 年度)	
		平均乗車 密度(人)	町補助金 (千円)	平均乗車 密度(人)	町補助金 (千円)	平均乗車 密度(人)	町補助金 (千円)
武生越前海岸線(国)	かれい崎～越前武生	5.0	0	5.0	2,683	0.0	2,683
福浦線 (国)	かれい崎～田原町	5.0	0	5.0	2,413	0.0	2,413
鯖浦線 (国)	かれい崎～神明	5.0	0	5.0	1,152	0.0	1,152
鯖浦線 (国)	織田～神明	2.6	6,329	2.5	7,731	△0.1	1,402
安養寺線 (県)	越前岬～越前武生	5.0	383	5.0	463	0.0	80
合 計			6,712		14,442		7,730

※ 平均乗車密度：始点から終点まで平均して常時バスに乗車している人数

## 【路線バスの維持対策】

### イ 高齢者の運賃補助

70歳以上の高齢者と心身障がい者が、町内区間に限り1乗車100円で乗車できるよう路線バス運賃補助券1枚につき400円を京福バスと福鉄バスに補助 (単位:千円)

補助先	平成23年度 (H22.10~H23.9)	平成24年度 (H23.10~H24.9)	比較増減 (24年度-23年度)	摘要
京福バス	537	249	△288	
福鉄バス	10,049	9,866	△183	
合計	10,586	10,115	△471	

### ウ 通学定期券の購入補助

高校生等の通学定期券(往復)代金1ヶ月につき1,000円を通学定期券購入の保護者に補助(平成23年度から越前地区は加算額有) (単位:千円)

学校名	平成23年度 (H22.10~H23.9)	平成24年度 (H23.10~H24.9)	比較増減 (24年度-23年度)	摘要
丹生高校	959	651	△308	H23:26人、H24:19人
その他	1,844	2,348	504	H23:101人、H24:97人
合計	2,803	2,999	196	

### エ 町職員のバス通勤

町職員のバス通勤のための定期券購入 (単位:千円)

項目	平成23年度 (H22.10~H23.9)	平成24年度 (H23.10~H24.9)	比較増減 (24年度-23年度)	摘要
定期券代金(a)	5,125	3,832	△1,293	H23:30人、H24:27人
通勤手当(b)	1,328	1,122	△206	バス通勤をしなかったとした場合に要する通勤手当
実質定期券代金 (a-b)	3,797	2,710	△1,087	バス通勤に要した実質定期券代金

## 路線バスの維持対策集計

(単位:千円)

項目		平成23年度 (H22.10~H23.9)	平成24年度 (H23.10~H24.9)	比較増減 (24年度-23年度)
ア 路線バス維持 支援補助金	京福バス	16,148	16,236	88
	福鉄バス	6,712	14,442	7,730
	小計	22,860	30,678	7,818
イ 高齢者の運賃補助		10,586	10,115	△471
ウ 通学定期券の購入補助		2,803	2,999	196
エ 町職員のバス通勤		3,797	2,710	△1,087
小計		17,186	15,824	△1,362
合計		40,046	46,502	6,456

## 越前町

平成 19 年 6 月 1 日設置

平成 24 年 6 月 28 日NW計画策定

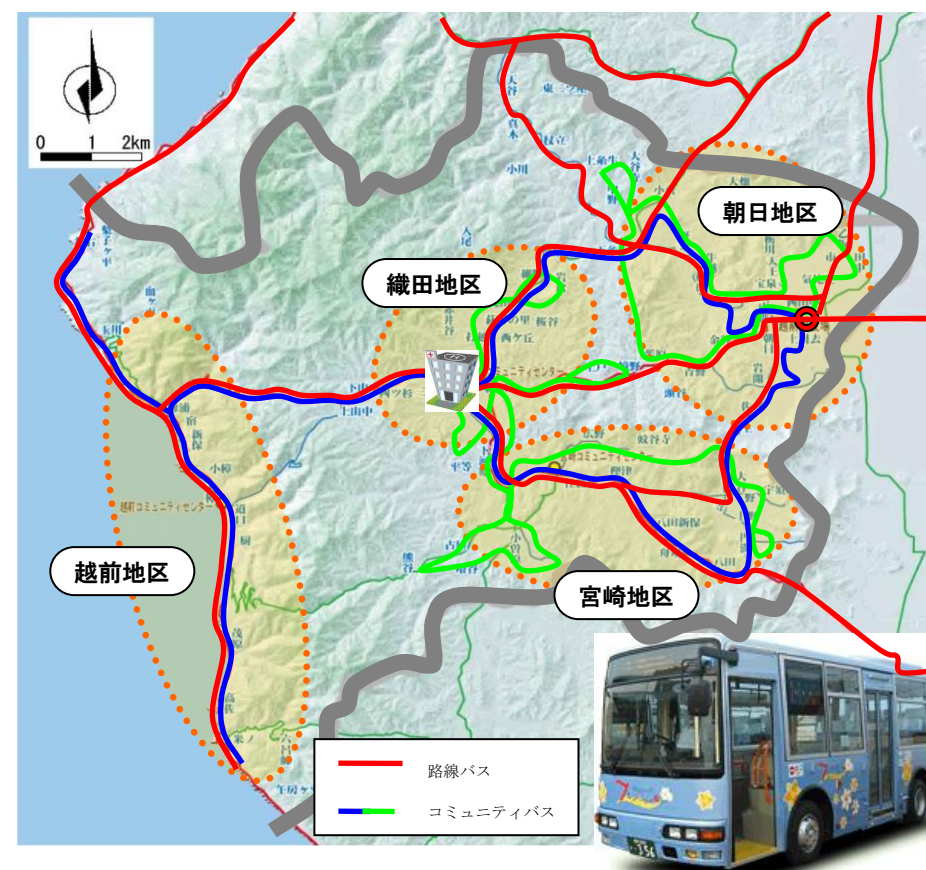
### ①町が目指す方向性(Plan)

越前町は、福井県のほぼ中央部に位置し、面積は 152 平方キロで、西は日本海に面し、近隣は福井市、鯖江市、越前市に接しています。地形的にはその大半が山地で林野率は 75%と高く、東部に広がる越前平野を除けば、中央部の織田盆地や宮崎盆地などの小規模な平地を残すのみで、耕地面積は少なくなっています。平成 17 年に合併した旧 4 町村ごとに市街地が分散しており、小規模な集落も点在しています。町内には鉄道軌道がなく、公共交通網は、隣接する福井市や鯖江市・越前市に通じる路線バスを軸に、町内を周回する環状バスと、町の中心にある町立総合病院と各地区を結ぶ、地区巡回ルートバスで構成されています。平野部と山間部と海岸部が共存するため、地域の実情に即した運行を行っています。

総合振興計画では、路線バスを維持・確保し、コミュニティバスは利用実態に柔軟に対応した運行をし、持続性の高い事業を構築することとしています。

数値目標としては、平成27年に公共交通の利便性に対する、満足度を60%とし、1日の公共交通利用者2,500人を目指します。

上位計画に基づき、第二次越前町地域交通計画では、路線の維持確保の他に、バスを利用しやすい環境づくりを充実させ、多様な補助制度を設け、底辺の拡大を図ることを目的とします。



## ②地域公共交通に関する具体的な取り組み及びそのプロセス(Do)

平成23年度までの事業

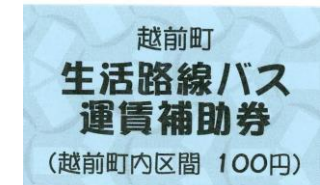
### <生活路線バス運賃補助>

高齢者(70歳以上)と心身障がい者の方には、コミュニティバスを100円で利用することができる“公共交通割引カード”を発行しています。また、路線バスを利用する際、運転手に「公共交通割引カード」を提示し「生活路線バス運賃補助券」を使用すると、町内区間がコミュニティバスと同じ100円で乗車できます。



### <生活路線バス通学補助>

越前町に在住する高校生等が通学を目的に、路線バスの定期券を購入した場合、1ヶ月往復につき1,000円を補助します。



### <コミュニティバス利便性向上策>

#### ① 回数乗車券の販売

100円券11枚綴りの回数乗車券を1,000円で販売

#### ② 運転免許自主返納者に対する無料定期乗車券の交付

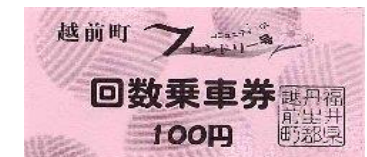
運転免許の全部を自主的に返納する満65歳以上の町民に対して、返納日から10年間、コミュニティバスの無料定期乗車券を交付

#### ③ 夏季期間限定定期乗車券の販売

町内の小中高生と丹生高校生を対象に、夏休み期間中はコミュニティバスが乗り放題になる夏季期間限定定期乗車券を500円で販売

#### ④ 70歳記念無料乗車券の送付

70歳になられた人に無料乗車券5枚を送付



<平成24年度からの事業>

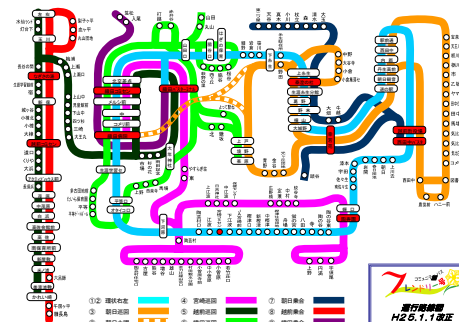
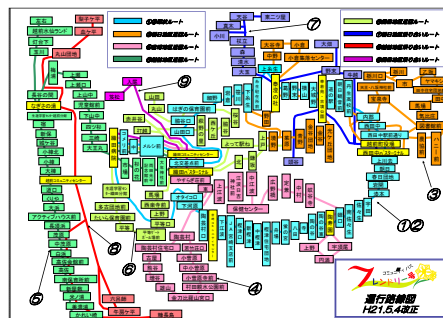
#### ○広報宣伝活動

町の広報誌で毎月、公共交通情報専用の連載スペースを確保し、毎月情報発信を行った。

コミュニティバスを利用する方のほとんどが75歳以上の高齢者であることから、高齢者が多く集まる施設で、チラシの配布や、バスに関する臨時相談窓口を設置した。総合病院や入浴施設、ショッピングセンターなどの協力を得て、バス利用者の底辺の拡大に努めた。

#### ○バス路線の明確化

町内を走るコミュニティバスは、全9路線運行しており、路線が重複したり、乗換えポイントも分かりづらいため、高齢者でも見やすい、路線図を作成し、バス停留所表示板に設置した。



### ③地域公共交通に関する具体的な取り組みに対する評価(Check)

- 運転免許自主返納者に対する無料乗車券は、毎年20名程の申請があります。これまで89名の高齢者が自動車免許を自主的に返納し、コミュニティバスや路線バスを利用しています。高齢者の交通事故の減少と、地域公共交通の活性化につながっています。また、町内全域を運行するコミュニティバスは、町の中央に位置する総合病院を起点としているので、地域医療の維持確保にも寄与しています。
- コミュニティバス利用者のほとんどが70歳以上の高齢者で、そのすべてが公共交通割引カードを所持し、さらには回数券を利用していることから、利用しやすい料金でサービスの提供を受けられています。
- 若年層へのモビリティマネジメントの一環として、夏休み期間中に小中高生を対象とした夏季期間限定の格安な定期券を販売し、年々利用者が増加しています。

## ④自己評価から得られた課題とその対応(Action)

乗降調査での聞き取り調査などから、新規の利用者がほとんどいないことが分かり、高齢者の免許自主返納者に対するコミュニティバス無料定期券の交付など、様々な利用促進策を実施し、クルマからバスへの転換を推進していく必要がある。

アンケート調査により特に要望が多かった、土曜日の運行を各路線で実施したが、全路線とも見込みを大きく下回った。今後、利用者の要望を取りまとめ、運行方式や路線、運行本数などの見直しを検討する。

## ⑤アピールポイント(特に工夫した点)

- 町の広報誌に連載スペースを確保し、毎月公共交通に関する情報を発信した。
- 高校生を除く、公共交通利用者のほとんどが70歳以上であるため、高齢者が多く集まる総合病院や入浴施設、福祉センターへ、バスの宣伝活動に出向き、公共交通に関する意見聞き取りやパンフレットの配布、各種割引制度の周知活動を行った。



総合病院での開設風景

**越前町 NEWS 7レジャー号**  
コミュニティバス レジャー号  
問合せ先 まちづくり課 34-8714

**週末は予約が必須です**

町内を運行しているコミュニティバスは6ルート、乗合いが3ルートあります。その外、下記の巡回ルートの一部と乗合ルートは全乗車予約が必要です。予約は前日の午後5時まで以下記の電話番号にて受け付けています。

**予約が必要なコミュニティバス**  
乗降票ハンドブックの薄黄色に塗りつぶされた部分がデマンド便です。

- ◆ 朝日地区巡回ルート 平日の2・3・4・6便と、土曜日の全便
- ◆ 宮崎地区巡回ルート 平日の1・3・4・6便と、土曜日の全便
- ◆ 福地地区巡回ルート 土曜日の全便
- ◆ 福地地区巡回ルート 平日の1・2・3・7・8・9・13便と、土曜日の全便
- ◆ 朝日地区乗合いルート・福地地区乗合いルート・福地地区乗合いルート・全便

予約の方法は、氏名・乗車日・乗車便・乗車ところ・降りるところ を伝えるだけでOK!

予約から利用まで(例)

- 利用時** 電話で予約  
越前町です。予約番号を教えてください。乗降票の準備が完了したら、「乗車の日」までお申し込みします。
- 予約センター** 予約センター  
予約番号を教えてください。予約受付しました。
- 越前町役場(乗車)** 越前町役場  
乗降票を渡していただきます。
- 乗車の日(乗車)** 乗車の日  
乗降票を渡していただきます。

※予約がなくても運行します。 ※予約がゼロの場合は運行しません。

コミュニティバス予約センター ☎34-2222 (受付時間9:00~17:00)

詳しくは、フレンドリー号乗降票時刻表をご覧ください。時刻表ハンドブックは乗降票、各コミュニティバス予約センター、予約センター、予約センターから各乗降票時刻表などが確認できます。各個人の都合に合わせて「マイ乗降票」を作成しますので、お気軽にお問い合わせください。  
(http://www.town.echizen.fukui.jp/kakuka/machi/bus/index.html)

**トラブル注意報** 長時間の使用は注意! カイロで低温やけど

**重要!** 車中カイロを足のホットカーペットの上で使っていた。後に車掌がやけどに気づいた。(90歳代 男性)

**重要!!** 車下の上から法定高にカイロを2時間連続して貼っていた。気づかずに、車掌が赤くなり、氷ぶくれができていた。(70歳代 男性)

**ひとこと助言**

☆低温やけどは、体温よりやや高めのもので皮膚の少し奥所に長時間接触し続けることで起きます。高齢者は感覚となるおそれがあるので注意が必要です。  
☆カイロを使う際は、取扱説明書をよく読んで正しく使いましょう。接触部が所定位置にたどり着いていないことが多くあります。特に、乗降時特別に使用しているようにしよう。  
☆乗降時、乗降票を渡す際、ホットカーペットなども乗降時特別に使用していることが多くあります。  
☆寒い日は十分注意していただき、低温やけどは発見し早急に対処をお願いします。早めに専門医の診察を受けましょう。

消費生活の相談は → 総務課 消費生活相談窓口 ☎34-8700  
福祉課 消費生活センター ☎0778-22-1102  
消費者ホットライン ☎0570-064-970

**越前町 NEWS 7レジャー号**  
コミュニティバス レジャー号

**「マイ乗降票」を作ります**

「マイ乗降票」とは、1回ご利用する区間、時間等が決まっているので、その乗降票だけ差し込み、「目的地まで行くのに乗換えしないといけないが、どのバスに乗り換えればいいかわからない」などのニーズに対応した自分専用の乗降票です。ご希望の皆さんに、**無料でお作りします**ので、まちづくり課までお気軽にお問い合わせください。

※乗降票のサイズは、8ガキサイズと名刺サイズがあります。ルート・時間等など、内容についてはそれぞれ各個人のご要望にお応えします。

問合せ先 まちづくり課 ☎34-8714

えんぜん INFORMATION

得々情報



地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業) 【平成24年度】

平成 25年 4月 19日

協議会・構成員

越前町

事業名	補助対象事業者等	事業概要	①事業実施の適切性	②目標・効果達成状況	③事業の今後の改善点
記載要領	【事業者名及び系統名・航(空)路名・施設名等を記載】 ※評価は運行系統、離島航(空)路、施設等の別ごとに実施すること	【運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等国庫補助金の交付を受けている場合は、その旨を記載)】	A・B・C 評価 【計画に位置付けられた事業が適切に実施された(されている)かを記載。計画どおり実施されなかった(されていない)場合には、理由等記載】	A・B・C 評価 【計画に記載した定量的な目標数値と結果を記載する。結果が目標を達成できなかった場合は理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載(改善点は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載すること)】 ※ なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨を記載
陸上交通に係る 地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	朝日自動車(株) 朝日地区巡回ルート (平日)	泰澄の杜～幸若苑・古墳公園～越前町役場	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 年間目標1,804人に対して、1,614人であった。利用者がデマンド便から定時便へ流れたことや、要望による土曜日運行を開始したが、要望どおりの利用者がなかった。しかし、交通空白地域における交通弱者に対して、福祉施設やスーパー、ホームセンター、図書館や役場など公共施設への移動手段を確保している。	利用の多い便はデマンド制から、定時定路線にし、利用の少ない便は廃止を検討する。また、小中高生などの若年層に対してのイベント、高齢者向けの講座を定期的実施し、講座の時間帯をバス運行時間に合わせ、利用者の底辺の拡大を図る。
	朝日自動車(株) 朝日地区巡回ルート (土曜)	上戸～越前町役場～織田病院	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 年間目標1,748人に対して、1,392人であった。入浴施設利用客が当初の見込みより減少したこと、土曜日の利用が低調だったため。電話予約に対する抵抗があり、一部の利用者は、予約の必要のない定時定路線へ流れた。しかし、総合病院を利用する交通弱者の利便を確保している。	利用の多い便はデマンド制から、定時定路線にし、利用の少ない便は廃止を検討する。また、高齢者の集う施設での講座やイベントを実施し、施設利用とバス利用の相乗効果を図る。総合病院でのバスの宣伝活動を行う。
	ニュー交通観光(株) 宮崎地区巡回ルート (平日)	陶寿園～織田バスターミナル～織田病院	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 年間目標229人に対して、165人であった。総合病院へ通院するバス利用者が当初の見込みより減少したこと、土曜日の利用が低調だったため。しかし、病院を利用する交通弱者の利便を確保している。	利用の多い便はデマンド制から、定時定路線にし、利用の少ない便は廃止を検討する。高齢者の利用状況を把握し、最低限必要なものを確保し、路線、便数の合理化を図る。
	ニュー交通観光(株) 宮崎地区巡回ルート (土曜)	陶寿園～織田バスターミナル～織田病院	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 年間目標229人に対して、165人であった。総合病院へ通院するバス利用者が当初の見込みより減少したこと、土曜日の利用が低調だったため。しかし、病院を利用する交通弱者の利便を確保している。	利用の多い便はデマンド制から、定時定路線にし、利用の少ない便は廃止を検討する。高齢者の利用状況を把握し、最低限必要なものを確保し、路線、便数の合理化を図る。
	福井車両輸送(株) 織田地区巡回ルート (平日)	織田病院～織田バスターミナル～織田病院	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 年間目標229人に対して、165人であった。総合病院へ通院するバス利用者が当初の見込みより減少したこと、土曜日の利用が低調だったため。しかし、病院を利用する交通弱者の利便を確保している。	利用の多い便はデマンド制から、定時定路線にし、利用の少ない便は廃止を検討する。高齢者の利用状況を把握し、最低限必要なものを確保し、路線、便数の合理化を図る。
	福井車両輸送(株) 織田地区巡回ルート (土曜)	織田病院～織田バスターミナル～織田病院	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 年間目標229人に対して、165人であった。総合病院へ通院するバス利用者が当初の見込みより減少したこと、土曜日の利用が低調だったため。しかし、病院を利用する交通弱者の利便を確保している。	利用の多い便はデマンド制から、定時定路線にし、利用の少ない便は廃止を検討する。高齢者の利用状況を把握し、最低限必要なものを確保し、路線、便数の合理化を図る。

【各評価項目の評価基準】

①事業実施の適切性

- A…事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された(されている)。
- B…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった(一部実施されない見込み)。
- C…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった(実施されない見込み)。

②目標・効果達成状況

- A…事業が計画に位置付けられた目標を達成した(する見込み)。
- B…事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)。
- C…事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業) 【平成25年度】

平成 25年 4月 19日

協議会・構成員

越前町

事業名	補助対象事業者等	事業概要	①事業実施の適切性	②目標・効果達成状況	③事業の今後の改善点
記載要領	【事業者名及び系統名・航(空)路名・施設名等を記載】 ※評価は運行系統、離島航(空)路、施設等の別ごとに実施すること	【運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等国庫補助金の交付を受けている場合は、その旨を記載)】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた事業が適切に実施された(されている)かを記載。計画どおり実施されなかった(されていない)場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に記載した定量的な目標数値と結果を記載する。結果が目標を達成できなかった場合は理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載(改善点は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載すること)】 ※ なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨を記載
陸上交通に係る 地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	朝日自動車(株) 朝日地区巡回ルート (平日)	泰澄の杜～幸若苑・古墳公園～越前町役場	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 年間目標2,008人に対して、1,658人であった。利用者がデマンド便から定時便へ流れたことや、要望による土曜日運行を開始したが、要望どおりの利用者がなかった。しかし、交通空白地域における交通弱者に対して、福祉施設やスーパー、ホームセンター、図書館や役場など公共施設への移動手段を確保している。	利用の多い便はデマンド制から、定時定路線にし、利用の少ない便は廃止を検討する。また、小中高生などの若年層に対してのイベント、高齢者向けの講座を定期的実施し、講座の時間帯をバス運行時間に合わせ、利用者の底辺の拡大を図る。
	朝日自動車(株) 朝日地区巡回ルート (土曜)	上戸～越前町役場～織田病院	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 年間目標1,592人に対して、1,277人であった。入浴施設利用客が当初の見込みより減少したこと、土曜日の利用が低調だったため。電話予約に対する抵抗があり、一部の利用者は、予約の必要のない定時定路線へ流れた。しかし、総合病院を利用する交通弱者の利便を確保している。	利用の多い便はデマンド制から、定時定路線にし、利用の少ない便は廃止を検討する。また、高齢者の集う施設での講座やイベントを実施し、施設利用とバス利用の相乗効果を図る。総合病院でのバスの宣伝活動を行う。
	ニュー交通観光(株) 宮崎地区巡回ルート (平日)	陶寿園～織田バスターミナル～織田病院	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 年間目標244人に対して、115人であった。総合病院へ通院するバス利用者が当初の見込みより減少したこと、土曜日の利用が低調だったため。しかし、病院を利用する交通弱者の利便を確保している。	利用の多い便はデマンド制から、定時定路線にし、利用の少ない便は廃止を検討する。高齢者の利用状況を把握し、最低限必要なものを確保し、路線、便数の合理化を図る。
	ニュー交通観光(株) 宮崎地区巡回ルート (土曜)	陶寿園～織田バスターミナル～織田病院	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 年間目標244人に対して、115人であった。総合病院へ通院するバス利用者が当初の見込みより減少したこと、土曜日の利用が低調だったため。しかし、病院を利用する交通弱者の利便を確保している。	利用の多い便はデマンド制から、定時定路線にし、利用の少ない便は廃止を検討する。高齢者の利用状況を把握し、最低限必要なものを確保し、路線、便数の合理化を図る。
	福井車両輸送(株) 織田地区巡回ルート (平日)	織田病院～織田バスターミナル～織田病院	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 年間目標244人に対して、115人であった。総合病院へ通院するバス利用者が当初の見込みより減少したこと、土曜日の利用が低調だったため。しかし、病院を利用する交通弱者の利便を確保している。	利用の多い便はデマンド制から、定時定路線にし、利用の少ない便は廃止を検討する。高齢者の利用状況を把握し、最低限必要なものを確保し、路線、便数の合理化を図る。
	福井車両輸送(株) 織田地区巡回ルート (土曜)	織田病院～織田バスターミナル～織田病院	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 年間目標244人に対して、115人であった。総合病院へ通院するバス利用者が当初の見込みより減少したこと、土曜日の利用が低調だったため。しかし、病院を利用する交通弱者の利便を確保している。	利用の多い便はデマンド制から、定時定路線にし、利用の少ない便は廃止を検討する。高齢者の利用状況を把握し、最低限必要なものを確保し、路線、便数の合理化を図る。

【各評価項目の評価基準】

①事業実施の適切性

- A…事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された(されている)。
- B…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった(一部実施されない見込み)。
- C…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった(実施されない見込み)。

②目標・効果達成状況

- A…事業が計画に位置付けられた目標を達成した(する見込み)。
- B…事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)。
- C…事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)。